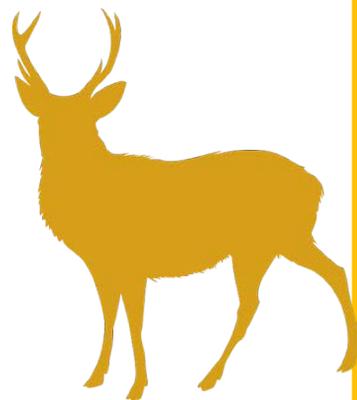


DPS News Letter



主査からのメッセージ 田上 敦士

マルチメディア通信と分散処理研究会 (DPS研究会) は、情報ネットワーク、分散処理、ネットワークアプリケーションなどに関する先端的で幅広い領域を対象として、研究発表・議論・情報交換の場を提供しております。昨今、インターネットなどのネットワーク技術がインフラ化するに従い、IoT、AI、BigData、Fintech、自動運転などが注目されており、様々な分野との連携による新技術・新サービスの創出にも期待が高まっています。そのような中であって、幅広い分野の研究者が集う本研究会の役割は益々重要になってくると考えています。

DPS研究会は、年4回の定例研究会、ワークショップ、論文誌特集号などを企画運営しております。研究会は、常的な研究発表の場であるとともに、学会へのエントリーポイントとしても活用頂いています。まとまった研究成果のご発表はもちろんのこと、昨年からは、ライトニングトークセッションを企画セッションとして実施し、問題提起やポジションペーパーなど、研究の初期段階での発表の場としても狩るよう頂ければと思っております。

特にDPS研究会は広い研究項目を対象としており、合同で開催する研究会も含めて、様々な分野の方々と議論ができる場にできればと考えております。是非、学生さんから大学や企業の研究者まで、気軽な議論の場としてご活用ください。毎年秋に開催されるマルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPS ワークショップ) は査読付きワークショップで、研究をブラッシュアップするための深い議論や意見交換の場になっています。同時に、研究分野全体の方向性や新しい課題について議論し、共有する場でもあります。参加者全員がすべての研究発表の議論に参加できるよう、合宿形式、シングルトラックで開催しています。2019年はワークショップ委員長に山口弘純先生 (大阪大学) をお迎えし、11月に北海道登別温泉で開催しました。次回は、ワークショップ委員長に串田高幸先生 (東京工科大学) をお迎えし、静岡県下田市での開催を計画しております。皆様の奮ってご参加をお待ちしています。研究成果を論文誌論文としてまとめて、発表することは重要です。DPS 研究会では、情報処理学会論文誌において DPS 特集号を企画しています。幅広いテーマの論文を受け入れ、丁寧な査読を心がけています。例年、5月GW前後に論文投稿締切、翌年2月号に特集号発行というスケジュールです。2019年度は、安本慶一先生 (奈良先端科学技術大学院大学) を特集号編集委員長にお迎えし、2020年2月に「ネットワークサービスと分散処理」特集号を刊行しました。次の DPS 特集号では、菅沼拓夫先生 (東北大学) を特集号編集委員長にお迎えし、2021年2月の発行を目指しています。他にも、「マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム(DICOMO)」の共催、研究会からの論文誌への推薦論文や学会の各種賞などへの推薦、研究会独自の論文賞など選出など、本分野の研究を推進する活動を積極的に展開します。

DPS 研究会は研究会運営委員会を中心に会員自身の手によって運営されています。2019年度をもって幹事の野呂正明様 (富士通研究所)、鈴木理基 (KDDI総合研究所) をはじめとして15名の運営委員が退任されます。これまでのご尽力に感謝いたします。また、新しい幹事・運営委員も就任し、益々発展するために精進したいと考えております。今後とも皆様の協力をお願いいたします。



福元 徳広 (KDDI総合研究所)

NEW

2020年度より新たにDPS研究会幹事を仰せつかりました、KDDI総合研究所の福元です。前幹事の鈴木から引き継ぐ形で運営委員会を担当いたします。DPS研究会は非常に熱の入った議論が行われる研究会と承知しておりますが、運営委員会も同様にさらなる研究の進展に向けた熱心な議論が行われているものと考えております。微力ではございますが、運営委員会の円滑な開催・進行を通じ、研究会の活性化、ひいては研究分野の発展に貢献できればと考えております。また運営委員会以外でも、より多くの方々に当研究会にご参加いただき盛り上げていけるよう、企画に環境づくりにと尽力して参ります。至らない点多々あるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



野呂 正明 (富士通研究所)

ご退任

4年間お世話になりましたが、この程退任となります。論文誌の特集号や、いくつかのイベントをお手伝いさせていただきましたが、プログラム委員など皆様がいらっしゃる現地に行かない仕事が多く、研究会そのものの現地参加も少なかったのが申し訳なく思っております。この任期中に特集号の編集幹事も担当させていただきましたが、今年は情報処理学会論文誌全体のネットワーク分野の主旨も努めておりました。多少は皆様のお役に立てたかもしないと思っております。一応、研究会幹事としての任期は終了しますが、論文誌編集委員会の任期も同時に終わりますので、多少できた余裕で、今後も本研究会には関わっていき、色々なイベントで本研究を盛り上げていけたらと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。



重安 哲也 (県立広島大学)

NEW

2020年度より新たにDPS研究会幹事をさせていただきます県立広島大学の重安です。担当は、論文誌特集号や通常研究会以外のDPS関連イベントのサポートです。前任幹事は富士通研の野呂さんです。振り返ってみると、私自身の初めての研究会発表や初めて表彰状をいただいたのが全てDPSであり、これまで、あたたかく、時には、厳しく本当に多くの面で育てていただきました。私は、まだまだ若手で、これから学ぶことの方が多く残っている身ではありますが、DPS研究会を通じて受けた諸先輩方からのご恩を次の世代の研究者、学生の皆様に2倍、3倍にして返すつもりで全力で努めます。経験不足により知らないこと、力不足なことが多々あると存じますが、研究会のために頑張りますので、会員の皆様、遠慮なくご使ってください。



鈴木 理基 (KDDI総合研究所)

ご退任

2016年度よりDPS研究会運営委員会幹事を務めておりましたが、4年間の任期を終えました。これまで、運営する立場としては至らぬ点多く、主査幹事、運営委員や会員のみならずには多々ご迷惑をおかけしましたが、みなさまのご指導およびご支援のおかげで、技術的にも業務的にも大変多くのことを学ばせていただきました。依然として未熟なままではございますが、みなさまのおかげで無事に任期を満了することができました。心よりお礼申し上げます。当研究会の今後の発展ならびに会員のみみなさまのご活躍を祈っております。もちろん、私自身も今後は研究会などでの発表を通じ、これまでとは違った立場で研究会を盛り上げていきたいと思っておりますので、引き続きみなさまにもご指導頂ければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



中沢 実 (金沢工業大学)

2019年度より、主に会計幹事を担当させていただいております。2年目になりますが、まだ会計幹事として自分が作った会計予算で運営をしたことがなく新米の気分です。同時に、3月にあった情報処理学会の全国大会のプログラム委員長も努めておりました。DPS研究会はみなさんがご存知のように歴史のある研究会であります。非常に間口も広く、研究会やワークショップにおいても非常に多くの建設的なコメントを頂ける研究会だと思っております。私の大学の研究室でも、まずは本研究会を登竜門として発表してもらおうことを目標にしております。これからは本研究会を盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。



寺西 裕一 (NICT)

2018度から本研究会にて2度目の幹事をさせていただいております。今回は主に広報関係を担当させていただきます。フェイスブック、ウェブ、本ニュースレターを通じた情報発信を進めていますが、その難しさを感じつつ取り組ませていただいております。今年度は新型コロナウイルスの影響で研究会が182回目にして初のオンライン開催となるなど波乱の年度となりました。DPSをはじめオンライン化された研究発表会にいくつか参加してみて、オンライン化の利便性と将来性を感じつつ、フェイスツーフェイスでないと話すことが難しいお話や、インフォーマルな場での出会いなど、イベントによる対面コミュニケーションならではの意義も再認識しているところで、本ニュースレターにもあります通り、2020年度も例年通り盛りだくさんの研究会イベントが計画されております。本研究会の活動を知っていただいた上で、新たにお迎えした運営委員会メンバーの皆様とともにさらにパワーアップした研究会やワークショップにて、無事皆様にお会いできることを楽しみにしております。



廣森 聡仁 (大阪大学)

2020年度のDPS研究会も様々な場所での開催が予定されております。例年、5月の研究会は沖縄での開催となっており、2020年は石垣島で開催いたします。沖縄本島とは違った雰囲気、皆様にも楽しんでいただけたらと思っております。ただ、コロナウイルスの影響で、3月の研究会はオンライン開催となってしまいましたが、5月の研究会についても現地開催が危ぶまれているところ（2月末現在）、運営側も現地開催に向けて頑張っておりますので、開催された折にはぜひご参加くださいますようお願いいたします。その後、DICOMO2020 シンポジウムは7月に高知で開催されます。他の研究会も魅力ある場所での開催を予定しており、普段皆様は訪問されていないところも含まれているかと思っております。いつもの仕事場から離れ、斬新な発想が生まれることを願っております。皆様のご投稿及びご参加お待ちいたしております。



2019年度 山下記念研究賞

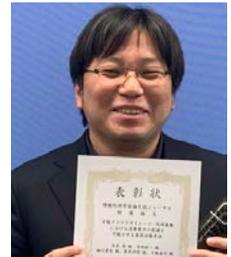
山下記念研究賞は、前年度の研究会およびシンポジウム発表論文のうち、優秀なものを選び、その発表者を、毎年1編ないし2編以内で選定するものです。2018年度は、2017年度の研究会発表から、以下の2名が選出されました。(https://www.ipsj.or.jp/award/yamashita2019.html)

- 北之馬貴正 「SmartFinder：集約型自己組織化スマートデバイス位置推定方式のノード間メトリックを用いた拡張とその実装」(2018-DPS-175)
- 森 郁海 「分散エッジ環境における機械学習実現最適化の検討～エッジ上で動作するアルゴリズム・オントロジーの決定と転移学習適用による最適化検討～」(2019-DPS-177)

2019年度 論文誌ジャーナル特集号 特選論文

「ネットワークサービスと分散処理」という特集号にふさわしく、ネットワーク自体に関する技術やネットワークの高性能化に関わる提案だけでなく、システムソフトウェアの要素技術、無線・モバイルネットワーク、基礎的なインターネット技術、モバイルコンピューティング、ネットワーク上のセキュリティ技術といった幅広い分野で論文が掲載されることとなりました。本特集における編集委員会は、「マルチメディア通信と分散処理」研究会の運営委員を中心に未記のとおり構成されました。特集号には、18編の論文が投稿され、4回にわたる編集委員会において慎重な審議を経た上で、和文12編、英文2編の計14編の論文が採択されました。なお、本特集号では、以下の1編が特選論文に選定されました。詳しくは、https://www.ipsj.or.jp/award/ssp_award.html をご参照ください。

分散クラウドストレージ・処理基盤における消費電力の削減を可能とする負荷分散手法
木全 崇 (NICT)、寺西 裕一 (NICT) 細川 貴史 (NICT)、原井 洋明 (NICT)、下條 真司 (阪大)



特選論文受賞の木全さん

第27回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ 各賞

最優秀論文賞

Detecting Energy Depriving Malicious Nodes by Unsupervised Learning in Energy Harvesting Cooperative Wireless Sensor Networks
Boqi Gao, Daichi Amagata, Takuya Maekawa, Takahiro Hara (Osaka University)

優秀論文賞

人間行動を活用したRFIDによるモノの位置と種別推定
扇田幹己, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大)
バッテリーレス行動認識のためのWi-Fi Backscatterセンサの基本性能評価
前田 透, 内山 彰, 東野輝夫 (阪大)
多次元ストリーミング時系列データの効率的なモチーフモニタリングアルゴリズム
加藤慎也, 天方大地, 原 隆浩 (阪大)

奨励賞

歩行者による背景隠蔽の継続時間及び位置に基づく移動軌跡推定手法
崎 貴幸, 廣森聡仁, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大)
位置およびキーワードに基づく近似逆k最近傍検索
西尾俊哉, 天方大地, 原 隆浩 (阪大)
音楽のBPMとRhythmValueに基づく歩行ペース誘導アプリケーションの開発と評価
大野 敦 (奈良先端大), 諏訪博彦 (奈良先端大/理研), 荒川 豊 (九大/JSTさきがけ), 安本慶一 (奈良先端大)
IMUを用いた剣道の素振り稽古における打突動作区間の検出手法
鳥越庸平 (奈良先端大), 中村優吾 (奈良先端大/JSPS特別研究員), 藤本まなと (奈良先端大), 荒川 豊 (奈良先端大/JSTさきがけ), 安本慶一 (奈良先端大)
脳磁図(MEG)による聴覚刺激再構成システムの提案と評価
山下正人, 中沢 実 (金沢工大)

特別賞

マルチメディア通信と分散処理研究領域における論文価値の意識調査
木原民雄 (デジタルハリウッド大), 加藤由花 (東京女子大)

優秀デモンストレーション賞

回想法ベースの音声対話システムにおける話題生成手法の提案
川端 和, 打矢隆弘, 内匠 逸 (工大)
省力化下水管検査のための浮流無線LAN端末による映像伝送プロトコルの改良
石原 進, 安田智則, 立花誠也 (静岡大)
スマートフォンを用いたコンテキスト推定のためのVRによる危険状況再現システム
天野辰哉, 秋川亮太, 内山 彰, 廣森聡仁, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大), 鈴木理基, 稗岡泰彦, 北原 武 (KDDI総合研究所)

優秀ポスター賞

複数のビエゾ素子を用いた振動による人の室内動線検出の検討
秋山真哉, 吉田 誠, 森山由美子, 近藤裕介 (オンキヨー), 諏訪博彦, 安本慶一 (奈良先端大)
IoT環境センサを利用した街の微気象推定手法の設計と実装
林 賢志 (東北大), 高橋大夢 (仙台高専), 阿部 亨 (東北大), 千葉慎二 (仙台高専), 菅沼拓夫 (東北大)
Evaluation of an Adaptive Traffic Control Algorithm Based on Back-Pressure and Q-Learning
Arnan Maipradit, Tomoya Kawakami, Juntao Gao, Minoru Ito (Nara Institute of Science and Technology)
ゼブラフィッシュの飼育・監視システムの提案
野海 颯, 山本真也, 告 恭史郎, 嶋本 顕 (山口東京理科大)
安全運転装備車両の周辺車両認識をシミュレートするモデルの検討
阿倉佑樹, 廣森聡仁, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大), 西村友佑, 諏訪 晃, 湯本 洵, 長村吉富, 竹嶋 進 (住友電工), 高井峰生 (UCLA)

最優秀プレゼンテーション賞

多車線道路に対応した2段階音響車両検出システムの初期的評価
内野雅人 (九大)

優秀プレゼンテーション賞

居住者の家事におけるストレス分析
大西晃正 (奈良先端大)
拡張固有表現の分類とテンプレートによる案内文に関する一考察
中沢 実 (金沢工大)
マルチメディア通信と分散処理研究領域における論文価値の意識調査
木原民雄 (デジタルハリウッド大), 加藤由花 (東京女子大)
UAVを用いた屋外無線センサの高精度位置推定手法の設計
加藤美奈 (東北大)
音楽のBPMとRhythmValueに基づく歩行ペース誘導アプリケーションの開発と評価
安本慶一 (奈良先端大)
位置に応じたビュー切り替え機能と情報補完機能を有するモバイルアプリの実証実験と評価
和田遥香 (奈良先端大)
構造化オーバーレイネットワークを用いた条件付きマルチキャストの提案と評価
安倍広多 (大阪市大)
大規模環境における攻撃グラフを活用したセキュリティ対策立案方式
井ノ口真樹 (NEC)
ベストカンパニオン賞
秋山真哉 (オンキヨー株式会社)



第27回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS 2019) 実施報告

マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSワークショップ) は1993年から始まり、2019年は北海道・登別温泉で27回目の開催を迎えました。また北海道?と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、実際、北海道は4度目でしたが意外なことに道央での開催は過去にありませんでした。しかも道央には温泉のデパートともよばれる有名な登別温泉があります。魅力ある開催地で多くの研究者を集め活発な議論を行なうことは大変重要です。ぜひ登別で!の掛け声のもと、登別万世閣を会場として無事開催することができました。ワークショップのスムーズな運営を全面的にサポートいただいた万世閣のスタッフの皆様にも感謝したいと思います。

登別温泉は約12年ぶりに訪れましたが、最近のインバウンド増加による賑わいもあって、当時と比較すれば立ち並ぶお店などもずいぶん様変わりしていました。一方で、見所もお湯の種類も豊富で情緒ある温泉街という点は以前と変わらず、国内外から多くの人々を惹きつける魅力がそこにはありました。参加者の皆様にそういった魅力を満喫していただけたのであれば嬉しい限りです。

私がDPSワークショップに初めて参加したのは16年前の2003年、まだまだ駆け出しの大学教員の頃でした。シングルセッションのため参加者全員が発表を聴講し、どちらかといえば遠慮のない質問やコメントが飛び交うスタイルをみて、これはもしかして厳しい学会?と陰ながら緊張したのですが、参加を重ねていくにつれ発表者や参加者の「顔」も見えてきて、多くの人達とつながることができる貴重な会であることを認識しました。作り上げた「つながり」は研究者間の連携や相互協力が必要な様々な場面で大いに役立っています。そういった自身の経験をふまえ、これまでの良き伝統や仕組みは引き継ぎつつ、学術的な知の共有の場と新たな「つながり」を促進する場を同時に提供することをワークショップ委員長の使命として、組織委員会のメンバーと実施計画を立てました。

プログラム構成としては、1論文あたり3名の査読者の査読により選ばれたダイバーシティ豊かでハイレベルな28件の論文発表、ご多忙の中、室蘭工大から駆けつけていただいた岸上順一先生の招待講演、13件のポスター発表ならびに8件のデモ発表という大変充実した内容で、いずれもインタラクティブな議論が活発に展開されました。ポスター・デモセッションはあまりの熱気で会場の空調が追いつかないぐらいの盛り上がりを見せていました。アウトドアセッションで登別の魅力に触れた時間は参加者間の会話のきっかけや経験の共有にもつながったことと思います。食事時には全員が個性溢れる1分間トークで自己紹介をし、自由参加形式の懇親会ではよりフランクに交流していただけたかと思えます。人と人のつながりを基に、異分野の研究者の方々にもご参加いただいて、新たなつながりも生まれました。これらを通じて、まさに本ワークショップが目指していた「コネクテッドコミュニティ」のための場の提供が実現できたと確信しております。

最後に組織委員会の皆様、プログラム委員会の皆様、アルバイト学生スタッフの皆様、ハードワークだったかと思いますが完璧な運営でした。ありがとうございました。DPS主査・幹事の皆様、きめ細やかなサポートをいただき感謝します。今回参加していただいた皆様、次回以降のワークショップでお会いできることを楽しみにしております。

第27回DPSワークショップ委員長

山口 弘純 (大阪大学)



会場



集合写真



地獄谷

第28回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS 2020) 参加のお誘い

DPSWS 2020は、2020年11月11-13日に静岡県下田市白浜 (伊豆白浜) にある下田プリンスホテル(下田温泉)にて開催します。伊豆白浜は、コバルトブルーの海と白い砂のビーチとして首都圏では有名どころです。また、下田温泉は、弱アルカリ性の単純温泉で疲労回復や健康増進があるとわれています。さらに下田市は、幕末の歴史のまちとして有名で、1854年日米和親条約の締結後、すぐに開港してペリー艦隊が来航して上陸しました。吉田松陰が、その艦隊で密航をしようとしたことでも知られています。

この下田の地でDPSWS 2020は、3日間のシングルセッションとして開催します。皆様の日頃の研究をどのようにして実社会にインパクトを出すかの議論する場にしていきたいと考えています。研究プロジェクトの成果発表や研究ステータスの共有のため、多くの方からのワークショップへの論文投稿をお待ちしています。皆様と伊豆白浜DPSWS 2020でお会いできることを楽しみにしています。

第28回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ委員長

串田高幸 (東京工科大学)



会場 (下田プリンスホテル)



会場の温泉



ペリーロード

DPS研究会では、2019年度も、会員の研究発表の場として、合同開催3回、単独開催1回の合計4回の研究発表会を企画いたしました。DPS研究会は、通信や分散処理だけでなく、広い研究項目を対象としており、今年度も、様々な分野の方々と幅広い議論を行うことができました。機械学習、エッジコンピューティング、ブロックチェーン、コネクテッドカーといった新しい分野の研究に関する議論も行われ始めています。2020年度も、ぜひ議論の場としてご活用ください。



第1回 (DPS179)

ITS/MBL/SeMI合同開催 2019年5月23日(木)~24日(金)

例年、5月の研究会は沖縄での開催を企画しており、2019年は、奄美市社会福祉センターにて開催されました。ITS/MBL、および、電子情報通信学会SeMIとの合同開催でモバイル系の発表が数多く行われ熱い議論が繰り広げられました。



第2回 (DPS180)

EIP合同開催 2019年9月19日(木)~20日(金)

9月の研究会は、秋の金沢にて、しいのき迎賓館(元県庁)を会場として開催されました。EIPとの合同開催で法制度との分野融合の議論などが盛り上がったほか、気軽な発表議論の場を提供しようとの意図のもと、ライトニングトークの試みが主査特別企画として開催されました。



第3回 (DPS181)

DPS単独・合宿形式 2019年12月26日(木)~27日(金)

例年単独・合宿形式で実施されている第3回の研究会は、年末迫る宮城蔵王にて開催されました。暖冬の影響で雪もほとんどなく、映像配信・機械学習・行動認識などのテーマについて合宿形式による深い議論を行うことができました。



第4回 (DPS182)

CSEC合同開催 2020年3月12日(木)~12日(金)

CSECとの合同開催となった本研究会はDPS研究会史上初のオンライン開催となりました(左は発表会中のスクリーンの様子)。エッジコンピューティングに関する招待講演をはじめとしてネットワークサービスやセキュリティ関連の研究が多数発表されました。オンライン参加者数は時間帯によっては40名を超えるなど成功裏に終了しました。

2020年度研究発表会・関連イベント予定

○ 研究発表会

第一回 (DPS183)

日程：5月28日~29日 または 5月21日~22日
場所：大濱信泉記念館(沖縄県石垣市)
開催形式：合同：MBL/ITS 共催：SeMI(信学会)
申込締切：3月11日 原稿締切：4月頃

第二回 (DPS184)

日程：9月
場所：島根県(調整中)
開催形式：合同：EIP
申込締切：7月頃 原稿締切：8月頃

第三回 (DPS185)

日程：1月
場所：未定(北海道または九州を計画)
開催形式：単独・合宿形式(見込み)
申込締切：11月頃 原稿締切：12月頃

第四回 (DPS186)

日程：3月
場所：東京近郊(調整中)
開催形式：合同：CSEC
申込締切：1月頃 原稿締切：2月頃

○ 関連イベント

DICOMO2020

日程：6月24日(水)~26日(金)
場所：ロイヤルホテル土佐(高知県安芸郡芸西村)
論文概要提出締切：3月19日(木)
カメラレディ原稿締切：5月11日(月)
参加者申込締切：6月上旬

第83回全国大会

日程：2021年3月18日(木)~20日(土/祝)
場所：大阪大学豊中キャンパス(大阪府豊中市)

FIT2020(第19回情報科学技術フォーラム)

日程：2020年9月1日(火)~3日(木)
場所：北海道大学 札幌キャンパス(北海道札幌市北区)

2020年度 マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 研究運営委員会

主 査: 田上 敦士 (株式会社KDDI総合研究所)

幹 事: 廣森 聡仁 (大阪大学), 寺西 裕一 (情報通信研究機構), 中沢 実 (金沢工業大学), 福元 徳広 (株式会社KDDI総合研究所), 重安 哲也 (県立広島大学)

運営委員: 乃村 能成 (岡山大学)、星 尚志 (KDDI総合研究所)、原 英樹 (千葉工業大学)、石原 進 (静岡大学)、山口 真悟 (山口大学)、安部 麻里 (日本アイ・ピー・エム (株))、佐野 博之 (株式会社NTTドコモ 先進技術研究所)、木下 雅文 (株式会社 日立製作所)、藤本まなと (奈良先端科学技術大学院大学)、内林 俊洋 (東北大学)、安藤 玲未 (日本電気株式会社)、樋口 拓己 (パナソニック (株) コネクティッドソリューションズ社)、今井 信太郎 (岩手県立大学)、伊藤 俊夫 (東芝 研究開発センター)、平山 秀昭 (目白大学)、森 郁海 (三菱電機株式会社 情報技術総合研究所)、藤野 知之 (NTT未来ねっと研究所)、木原 民雄 (デジタルハリウッド大学)、小島 俊輔 (熊本高等専門学校)、植田 和憲 (高知工科大学)、村上真 (東洋大学)、上嶋 明 (岡山理科大学)、上田 浩 (法政大学)、神崎 映光 (島根大学)、計宇生 (国立情報学研究所)、中村 嘉隆 (はこだて未来大学)、梅森 直人 (株式会社NTTデータ)、羽田 明生 (鉄道総合技術研究所)、横山 和俊 (高知工科大学)、Kugamoorthy Gajananan (IBM Research)

2020 年 論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集号

インターネットは高度情報基盤として社会に浸透し、既に人々の生活の中で必要不可欠なものとなっている一方、常に変化を続けています。インターネットを構成する端末は、ワークステーションやPCから、スマートフォンやタブレット、IoT機器、車載機器など拡大し続けており、それに伴い、第5世代移動通信システムやSDN(Software Defined Network) /NFV(Network Function Virtualization)といった高機能・高性能ネットワークに加えて、エッジネットワークやLPWA(Low Power, Wide Area)など、ネットワーク技術についても広がりをみせています。また、ネットワークサービス基盤も、クラウドコンピューティングやエッジコンピューティングへと変化し、そこで提供されるサービスも、従来のメールやWeb等の「1対1」「1対多」の通信から、ソーシャルネットワークやビッグデータといった「場」や「知」の提供まで多様化しています。さらに、これらの通信により得られたデータを、深層学習に代表される機械学習技術を用いることで、様々な分野で高度な処理を実現することも期待されており、このような普及と発展を続ける情報通信技術を支え続けるためには、端末やネットワークの高度化に加え、領域横断的なテーマ、萌芽的なテーマについても幅広く議論することが必要となります。本特集では、こうした将来のネットワークを実現するネットワーク基盤技術、サービス技術、アプリケーション技術、新世代のコンピューティングや分散処理に関する論文を募集します。奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

論文募集の詳細はこちら

→ <https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-E.html>

投稿締切: 2020年5月1日(金)

特集号予定: 2021年2月号

編集委員長: 菅沼 拓夫 (東北大学)

幹 事: 北形 元 (東北大学)

委 員: 田上敦士 (KDDI総合研究所)、野呂正明 (富士通研究所)、鈴木理基 (KDDI総合研究所)、廣森聡仁 (大阪大学)、寺西裕一 (情報通信研究機構)、中沢実 (金沢工業大学)、阿倍博信 (東京電機大学)、重野寛 (慶應義塾大学)、加藤由花 (東京女子大学)、安本慶一 (奈良先端科学技術大学院大学)、大西健夫 (日本電気)、重安哲也 (県立広島大学)、吉廣卓哉 (和歌山大学)、横山和俊 (高知工科大学)、串田高幸 (東京工科大学)、藤田 茂 (千葉工業大学)、安達直世 (関西大学)、早川智一 (明治大学)、川上朋也 (奈良先端科学技術大学院大学)、小田切和也 (信山女子園大学)、後藤充裕 (NTTサービスエボリューション研究所)、佐藤文明 (東邦大学)、勝間 亮 (大阪府立大学)、黒瀬 浩 (金沢工業大学)、井ノ口真樹 (日本電気)、中嶋卓雄 (東海大学)、赤木文彦 (富士通)、滝沢泰久 (関西大学)、林原尚浩 (京都産業大学)、杉本章義 (北海道大学)、柳澤秀明 (徳山工業高等専門学校)、小田哲也 (岡山理科大学)、金井 敦 (法政大学)、後藤 佑介 (岡山大学)、中村素典 (京都大学)、白石 陽 (はこだて未来大学)、乃村能成 (岡山大学)、星 尚志 (KDDI総合研究所)、原 英樹 (千葉工業大学)、石原 進 (静岡大学)、山口真悟 (山口大学)、木下雅文 (日立製作所)、藤本まなと (奈良先端科学技術大学院大学)、内林俊洋 (東北大学)、安藤玲未 (日本電気)、樋口拓己 (パナソニック)、今井信太郎 (岩手県立大学)、伊藤俊夫 (東芝)、平山秀昭 (目白大学)、森 郁海 (三菱電機)、藤野知之 (NTT未来ねっと研究所)、木原民雄 (デジタルハリウッド大学)

第27回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS 2020)

情報処理学会マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 研究会では、高速通信、分散コンピューティング、マルチメディア情報通信、知的通信、プロトコル、分散協調などの研究分野について、活発な研究発表が行われております。これらの研究について、通常の研究会ではできない深い議論を行うため、1993年より合宿形式のマルチメディア通信と分散処理ワークショップを開催してまいりました。これまで皆様のご協力により、湯布院 (1993年) を皮切りとして、最近では、温根湯 (2017年)、川上峡 (2018年)、登別 (2019年) でワークショップを開催してきました。毎回、多くの方の参加をいただき、充実した議論を通じて多くの成果を得ています。2020年度は、伊豆下田温泉にて開催することといたしました。つきましては、研究活動の活性化および新しい研究の方向を探る場として、皆様のワークショップへのご参加と活発で有意義な議論をお願いいたします。なお、今回のワークショップでは、初参加、あるいは発表経験が浅い方に対しても積極的に表彰を行う予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

スケジュール:

- ・論文投稿締切: 7月17日(金)
- ・デモ・ポスター発表申込締切: 8月21日(金)
- ・論文審査結果通知: 9月11日(金)
- ・カメラレディ原稿締切: 9月28日(月) (デモ・ポスターを含む)

実行委員会:

- ・ワークショップ委員長: 串田 高幸 (東京工科大)
- ・組織委員長: 後藤 佑介 (岡山大)
- ・組織副委員長(財務担当): 藤本 まなと (奈良先端大)
- ・組織副委員長(LA 担当): 野呂 正明 (富士通)
- ・組織委員(IT 出版担当): 鈴木 理基 (KDDI 総合研究所)
- ・組織委員(企画担当): 松田 裕貴 (奈良先端大)
- ・プログラム委員長: 石原 進 (静岡大)
- ・プログラム副委員長: 寺西 裕一 (NICT)
- ・プログラム副委員長: 荒川 豊 (大北)
- ・プログラム副委員長(デモポスター担当): 勝間 亮 (大阪府立大)
- ・アドバイザー: 山口 弘純 (阪大)
- ・アドバイザー: 田上 敦士 (KDDI 総合研究所)

論文カテゴリ:

1. 一般セッション発表 (一般論文)
 - ・学術的な研究論文に限らず、事例報告、問題提起などの論文もぜひご投稿ください。英語論文も歓迎します。
 - ・本研究会様式 (縦長、シングルスペース、2カラム) で、原則6~8ページ程度とします。
 - ・査読の結果、ショートプレゼンテーションやポスター発表として採録する場合があります。
2. 特別セッション発表 (デモ・ポスター)
 - ・試作ツールやシステムの紹介、会場での実験、製品紹介等のデモンストレーションを募集します。
 - ・研究途上にあるテーマの中間報告、問題提起や討論、新分野への取り組みなど、テーマ別のセッションの中では発表しにくい内容や、時間に制限されない発表を希望される方のためにポスター発表を募集します。
 - ・本研究会様式 (縦長、シングルスペース、2カラム) で、1~8ページ程度の原稿を予稿集に収録します。
 - ・デモ機材への大容量の電源供給は保証しません。また、安定した高速インターネット接続も確約できません。必要な場合は各自でご用意・ご確認ください。

DPS News Letter Vol.9, No.1

発行: 一般社団法人情報処理学会

マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 研究会

発行日: 2020年3月16日

お問い合わせ

研究会全般について: 一般社団法人情報処理学会研究 (sig@ipsj.or.jp)

DPS News Letter について: teranisi@nict.go.jp

研究会Facebook ページ: <https://www.facebook.com/ipsjdps/>

研究会ウェブページ: <https://www.ipsjdps.org/>

